

(1) 総括

令和元年度は、第6次鶴ヶ島市総合計画を1年前倒して策定したことから、第5次鶴ヶ島市総合計画後期基本計画の事実上の最終年度に当たり、総合計画に掲げた市の将来像の実現の総仕上げと、新たな総合計画のスタートに向けた重要な年度でありました。総合計画に掲げる市の将来像である「鶴ヶ島は 元気にする～明日につながる活力のまち 支えあう安心のまち～」の実現に向け、「安心して暮らせるまちづくり」、「元気で暮らせるまちづくり」の実現に向けた取組に重点を置いて予算編成を行いました。

歳入では、国・県支出金や地方交付税、地方特例交付金などが増額となり、総額は9億7,507万2,482円、4.4%の増額となりました。

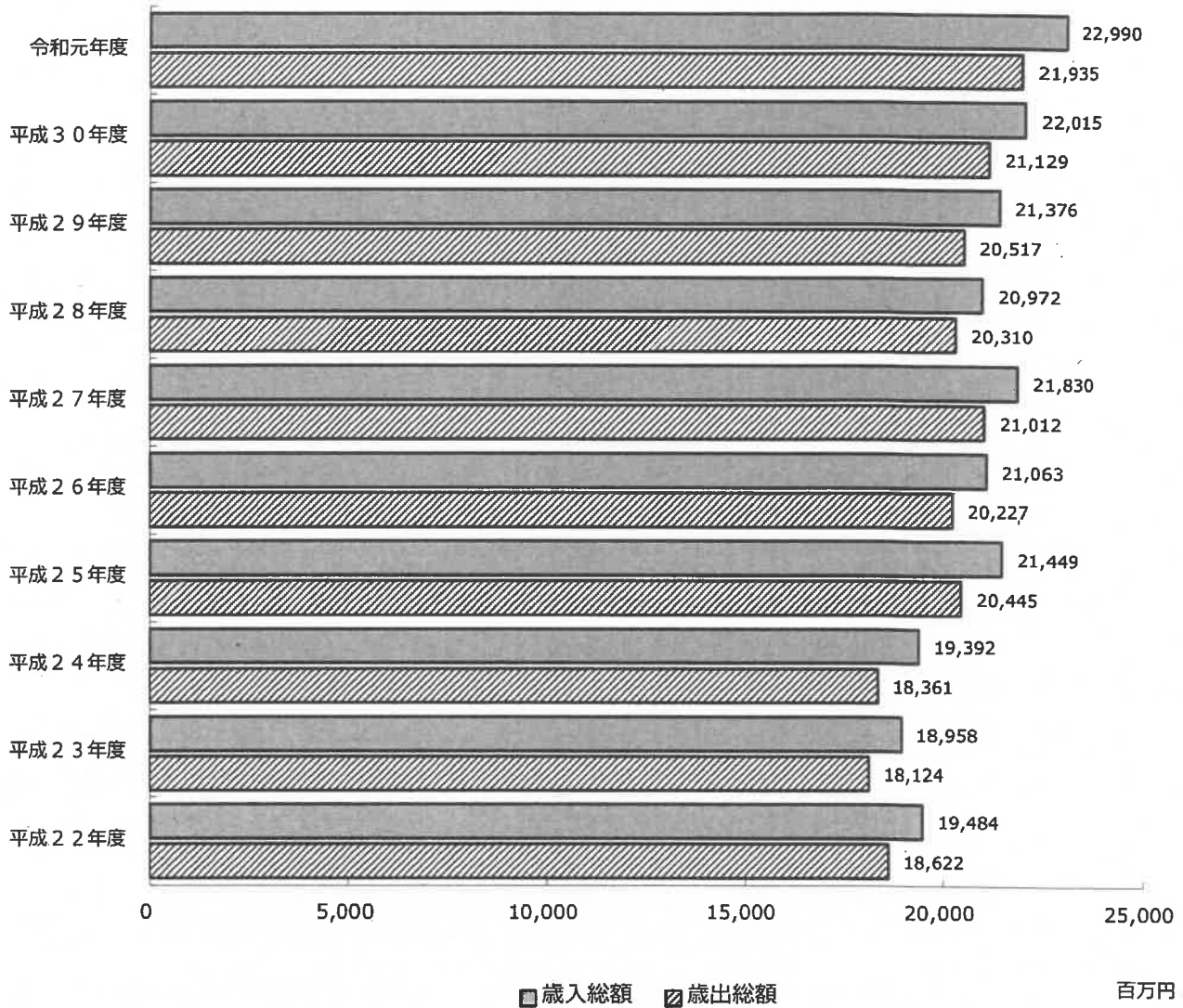
歳出では、都市計画道路整備事業や庁舎空調更新事業、障害者自立支援給付等事業などが増額となり、総額は8億635万1,459円、3.8%の増額で、歳入歳出ともに前年度を上回りました。

(2) 決算規模

(単位 円)

一般会計	令和元年度 決算規模	平成30年度 決算規模	増減額	増減率
予算現額 (A)	23,270,808,000	21,834,756,000	1,436,052,000	6.6%
歳入総額 (B)	22,989,596,250	22,014,523,768	975,072,482	4.4%
歳出総額 (C)	21,935,470,032	21,129,118,573	806,351,459	3.8%
歳入歳出差引額 (B) - (C) (D)	1,054,126,218	885,405,195	168,721,023	19.1%
翌年度に繰り越すべき財源 (E)	76,179,000	58,411,000	17,768,000	30.4%
実質収支 (D) - (E) (F)	977,947,218	826,994,195	150,953,023	18.3%
前年度実質収支 (G)	826,994,195	753,765,229	73,228,966	9.7%
単年度収支 (F) - (G) (H)	150,953,023	73,228,966	77,724,057	
積立金 (I)	607,365,000	510,407,000	96,958,000	19.0%
繰上償還金 (J)	0	0	0	0.0%
積立金取崩し額 (K)	601,549,000	519,720,000	81,829,000	15.7%
実質単年度収支 (H)+(I)+(J)-(K) (L)	156,769,023	63,915,966	92,853,057	

一般会計決算規模の推移



【一般会計の主な増減要因】

増要因

- 都市計画道路整備事業
- 庁舎空調更新事業
- 障害者自立支援給付等事業

減要因

- 公共施設保全基金積立金
- 小学校トイレ改修事業（工事）（繰越明許費分）
- 都市計画道路整備事業（繰越明許費分）